



杉並区立沓掛小学校運営協議会だより

杉並区立沓掛小学校運営協議会会长 近藤 真司

令和3年第4回 畠掛小学校運営協議会報告（令和3年9月14日）

◆会長挨拶・・オリンピック、パラリンピックが終わり国立競技場の周りのフェンスが取り戻され元に戻す準備が進んでいます。本日は区の教育委員会より緊急事態宣言延長に伴う新型コロナウイルス感染症対策の徹底通知というメールがきました。その中で教育活動の留意点として、学校公開、保護者会、個人面談、PTA活動は制限をして実施または中止、教職員等の健康管理の徹底、不織布マスクの着用の徹底、会議の時間短縮等が書いてあります。こういう状況の中で、秋になりましたが、これから学んでいくには一番良い時期になります。コロナ対策を怠らないようにして安全な子供達の環境を作るようにしていきたいと思います。

◆校長挨拶・・7月にパラリンピック観戦は見合わせることにしていましたが、8月になり都知事から学校観戦を実施という発表がありました。その後8月中旬に区からメールで希望者を確認するよう連絡がきました。本校は5・6年生に希望メールを配信しました。出発前に参加者は全員PCR検査を行うことになりましたが全員陰性でしたので、バス2台で車椅子バスケットの観戦に行きました。2学期はガイドラインに基づいた感染症対策を行いながら通常通りに学校を再開しました。緊急事態宣言中のため、4年生の演芸鑑賞教室やクラブ活動、土曜授業の保護者参観は中止としました。中学校体験は、直接交流は難しいので、ビデオで中学校の様子を見ることになります。明日のAKAは本校が会場ですので、中学校の先生方が様子を見に来るという主旨で実施することになりました。来月の体育学習発表会は、ゆとりを持って計画をしています。毎年畠掛まつりで販売しているじゃがいもは、今年は6年生が地域の方に配布しました。お礼の手紙を沢山いただきましたので、正面玄関に掲示しています。

◆道徳地区公開講座参観報告

- ・全体的に子供達は落ち着いて授業を受けていました。先生方も大変一生懸命道徳の授業に取り組んでいました。教室の掲示物を見てもきちんと掲示されていて安定した学級経営がされているように感じました。ただ、短時間で全ての教室を回るので使用する資料があると有難い。6年生は自由と自分勝手の違いという面白い課題に取り組んでいたが、子ども同士の意見を出し合う場面があると更に良かったと思います。2年生がペーパーサートを使って授業をやっていたが、やっている子は楽しそうだが、見ている子達は机の上に教科書も何も無い状態でした。
- ・子供達は真剣に取り組み、先生方も各学年様々な工夫をされていました。素晴らしい授業だと思います。気になるところがありました。学年が上がるほど先生の質問に対して挙手する子供の数が減ることです。弁が立つ子が意見を言うと、苦手な子は発言を控える傾向にあります。しかし意見を言わなかった子供達の中に道徳が大切にしている優しい心や温かい心を持つ子が沢山います。こういう子が輝ける場面を作って下さい。道徳の授業だけが地域の方に公開しているのは道徳が心の豊かさを育む事を目的としており、豊かさは学校だけでは育めません。家庭や地域社会との連携が必要です。公開講座を三者連携の端緒にして欲しいと思います。
- ・道徳は答えがないので、自分の意見や発表した他の生徒が言っていることを理解する場合、短い時間の中で行うのは難しいことだと思いながら見ていました。各クラス休んでいる子供が意外と少なかったと思いました。全体的に落ち着いていると感じました。
- ・私も休んでいるお子さんが少なかったという印象を持ちました。コロナ対策の中、先生方も制

限ある中で席を一つ開けて授業をしたり、一時期制限されていたグループ学習を工夫してされていました。高学年ではタブレットを使われている所も参考になりました。

- ・道徳の授業参観は初めてですが、深い授業だと思いました。子供達が友達の意見を聞いたり、同年代の子達と意見を交わすことは意味のある授業だと思いました。子供が帰宅して、道徳の授業の話を沢山していたので印象に残った授業だったのだと思いました。
- ・去年はここまで討議が出来ていなかったが、今年は机を寄せてグループ討論をしているクラスが多くいたと思います。机を寄せるにも、間に空間を作りディスタンスをとって対面で意見を言っていました。工夫すれば出来るのだと思いました。

◆国の学力調査・体力調査結果報告（校長）

- ・詳細な分析はこれからですが、学力調査は全体的に良い結果が出ています。一人一人の内容をこれから見ていくと課題も出てくると思いますので授業改善に向けていきます。意識調査はざっと見たところで子供達の自己肯定感が上がっています。校内研究でも対話を中心とした学習に取り組んでおり、そういう活動を意識的に教員が行うことで学ぶ力が増したのではないかと思います。今後、学力調査委員会とともに検討し公表に向けて準備をして参ります。体力調査に関しては、本校は体力的には弱く、特に持久力が低いです。「トライやる」など体力向上の取り組みは今後も継続し体力向上に努めています。

◆協議事項① P T Aとの意見交換について・・様々な意見が出ましたが、次回以降継続審議となりました。

- ・まずはやってみることが大切だと思います。P T Aの方にもCSとは何かを理解していただきたい。コロナ禍でもあるので方法は工夫していく必要があると思います。
- ・意見交換をするのであれば、何を目的に会を開くのかCS内でコンセンサスを得てから提示した方が良いのではないか。最初はCSとのお話し会を設置し、第二段階として学校に求めることについて話していくのは如何でしょう。
- ・CSは公開で行われているにもかかわらず、見に来られる方がいない。この会のことを是非知りたい、分りたいと言う方が少ないのだと思う。テーマを決めるのも大切だが、どういうテーマであればP T Aの方が一緒に話し合ってみようと思うのだろうか？
私が一番知りたいのは学校の主役である子供達が、沓掛小はコミュニティスクールだという意識があるのかどうかということです。保護者にも沓掛小がコミュニティスクールになって本当に良かったのか。コミュニティスクールでなくても変わっていないのではないか。その辺の所について聞きたいと思います。
- ・これまでP T A・CS両者がどういう活動をやっているかということを把握していないところがあるようです。P T Aがやっている活動が、CSがやっているとする方向と一致していることが同じ方向に向かっているので良いのだが、P T Aの活動が学校やCSのやっていく方向に一致しているのか確認があっても良いと思います。
- ・子供を中心においてP T AとCSが何をしていけるのかというようなことを確認できれば良いと思いますが、2学期CSのスケジュールが詰まっているので、3学期に何かしらの準備が出来るようにしていきましょう。

②学校評価項目について・・独自項目として下記二点を追加することをお願いする事になりました

- (1)タブレットによる学習効果があったか(タブレットによって分ることや出来ることが増えていますか？等、質問の文言は学校で作成、質問対象は生徒)
- (2)校長先生の掲げる教育目標が達成出来たか(教育目標である子供が主役の楽しい学校が達成出来たと思いますか？等、質問の文言は学校で作成、質問対象は生徒、保護者、教員)

次回の運営協議会は10月12日（火）17：00～ 於：開放会議室 傍聴希望者は副校長へ